



西尾いきものふれあいの里だより

11月号

2024.11.1

さとやま

11月の里といきもの



マガモ

今年は、10月になっても夏があつたりと気温の高い状態が続きました。11月には秋も深まってくるでしょう。紅葉の始まった小草池では耐震工事以前ほどではありませんが、マガモなどの冬鳥の姿も見ることができるでしょう。

そんな里を散策すると、衣服に色々な「ひっつきむし」がついてきます。嫌われ者ですが、よく観察するといきものの生き残りの戦略が見えてきます。ひっつきむしの正体は植物の果実です。植物は、動物とは違い移動することができないので、子孫を広い範囲で残せるように、風に乗せたり、果肉を鳥や動物に食べさせて種を遠くへ運ばせたりと、さまざまな工夫をしています。ひっつき虫も動物にくっつき、種を広く撒いて子孫を多く残すための方法なのです。

コセンダングサ

里で一番よく見られるひっつきむしで、キク科に分類される一年草です。



コセンダングサ

コシロ /
センダングサ

細長い果実には、先端に下向きの剛毛がついた棘が2～4本あって、衣服などに付くと抜けにくくなっています。この棘は、果実が未熟なころからついているので、花が終わった集合花を摘んで、衣服につけることもできます。花は、小さな花弁のない筒状花がたくさん集まって、1つの花のように見えます。ときには外側に白い花弁の付いた舌状花があるものがある、**コシロノセンダングサ**と呼ばれます。里でも見つけることができます。

アメリカセンダングサ

北アメリカ原産のセンダングサのなかまです。集合花の周りの、がくのように見える総苞片が、ライオンのたてがみのようについています。果実はコセンダングサより扁平で先端に2本の棘があります。



ヌスビトハギ・アレチヌスビトハギ



マメ科に分類される多年草で、果実の表面に小さな鉤が密生していて、面テープのように衣類につきます。アレチヌスビトハギは北アメリカ原産の外来種です。ヌスビトハギより大きな花をつけ、1つの果実に入っている種子はヌスビトハギが2つなのに対し4つです。どちらも種子の入っている節で分かれることで、それぞれが別の場所で発芽できます。

ササクサ・チヂミザサ



どちらもイネ科に分類される多年草です。イネやコムギのように花は目立ちません。葉が笹に似ているササクサは、果実の先端の逆向きの棘のある突起で引っかかり、葉の表面に細かいしわがあるチヂミザサは、粘液によってくっつきます。

手で取ろうとすると、ササクサは先端の部分が残り、チヂミザサは粘液が手についてベタベタするなど結構厄介です。

イノコヅチ

ヒユ科に分類される多年草です。果実の基部の2本の棘が、反り返ってひっかかります。



オナモミ

キク科に分類される1年草です。最近、在来種はほとんど見られなくなり、里に見られるものは外来種のオオオナモミのようです。果実の棘は先端が曲がっています。

どちらも双子葉類ですが、花はあまり目立ちません。

ヒメキンミズヒキ

バラ科に分類される多年草です。ビオトープ上の池や万灯山エリアで見られる星形のきれいな花ですが、果実はかぎ状の棘が付いたひつつきむしなのです。

ひつつきむしを防ぐには、滑りやすい素材の服を着るのが良いでしょう。また、乾燥すると離れるので、洗濯して干すと取れます。



11月はこんな生きものも見られます

気温が下がってくると、様々な木や草の実が色づいてきます。里全体で見られるのは、ウリ科に分類される多年草のつる植物の**カラスウリ**、鮮やかなオレンジ色になります。

杉並木やトンボの里、万灯山エリアでは、マツブサ科に分類される、常緑のつる性木本、**サネカズラ**の変わった形をした真っ赤な実が見つかります。

万灯山エリアでは、キク科に分類される**コウヤボウキ**のリボンのような花弁がよじれて広がるかわいい花が咲きます。



晩秋の里を散策して、秋を満喫してみませんか

10月の行事紹介



「棚田でお米を作ろうⅡ（稲刈）」の講座を10月6日（日）に開催しました。

今年の稲刈りは、前日の雨で田んぼがぬかるみ、作業中には泥に足を取られ転びそうになりながら稲を刈りました。稲刈りの仕方は、タライを使って稲穂に泥が付かないようにして、稲ワラで作ったスゲ縄で縛り、ぬかるんだ泥の中を歩いて、稲束のはざ掛け作業を行いました。

大人も子どもも汗びっしょりで泥んこになりながら、大変な稲刈り作業をしてくれました。参加者からは、大変疲れたが楽しくできました。

11月の行事予定

17日（日）	ひつつき虫のしくみを観察しよう	20名	AM 9:30~11:30	高須 桂子
--------	-----------------	-----	---------------	-------

内容：秋の里のやっかいもの「ひつつき虫」、よく見ると、様々な戦略が見えてきます。

秋の生き物を観察しながら、ひつつき虫の知恵を学びましょう。

12月の行事予定

1日（日）	自然の素材でクリスマスリースを作ろう	20名	AM 9:30~11:30	磯貝はるみ
-------	--------------------	-----	---------------	-------

内容：植物の観察をしながらリースの材料を採集します。自然の素材を生かした、いきものふれあいの里ならではのクリスマスリースを作ってみましょう。

22日（日）	正月飾りを作ろう	20名	AM 9:30~11:30	当園職員
--------	----------	-----	---------------	------

内容：縁起よく新年を迎えるために飾りたい正月飾りを作ります。

里山の竹を使って「花器」を作り、縁起の良いとする松やセンリョウなどで心を込めて飾りつけを行います。

※12月の各講座は、講座開催日に材料費(300円/1作品)を徴収します。なお、22日の講座のお申込みは、大人2人分までの材料とし、お子さま等は一緒に作るようご協力ください。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候**により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課